

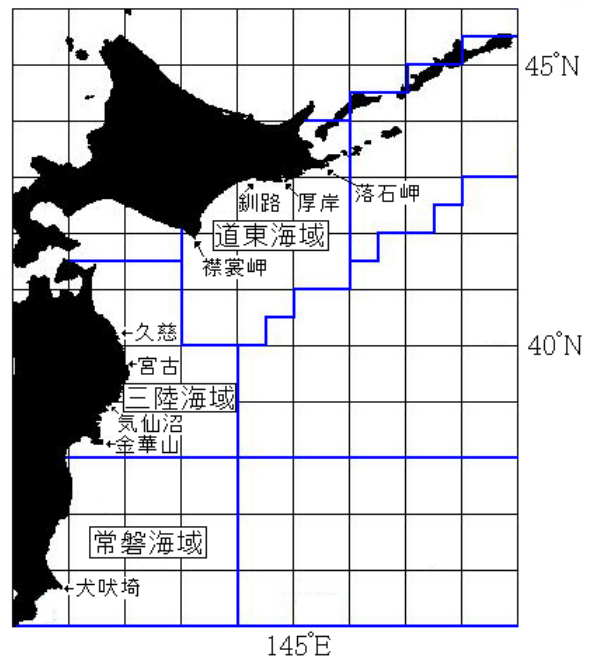
## 平成26年度 第2回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2014年9月下旬～11月上旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、来遊量は増加し、9月下旬は中位水準となる。
- ・三陸海域では、10月上旬になると、断続的ではあるが来遊がある。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課  
担当：渡邊、松尾  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

# 平成26年度 第2回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2014年9月下旬から11月上旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

来遊量は増加し、9月下旬～10月上旬は中位水準となる。10月中旬以降は、道東海域よりも南東側の沖合を南下する魚群が多くなるため、10月中旬は中位水準であるが減少する。10月下旬は低位水準、11月上旬は断続的となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

9月中旬～下旬は、道東海域より北東側の色丹島南沖でも漁場が形成される。道東海域では、9月中旬～下旬において、落石南東沖～厚岸南沖で漁場が持続し、襟裳岬沖にも断続的に漁場が形成される。10月中～下旬は、落石南東沖～襟裳岬沖で漁場が持続する。11月上旬は、襟裳岬沖で断続的に漁場が形成される。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

10月上旬は、断続的ではあるが来遊がある。来遊量は徐々に増加し、10月中旬は低位水準、10月下旬～11月上旬は中位水準となる。

#### (2) 漁場

10月上旬には、三陸北部に一時的に漁場が形成される可能性がある。10月中旬～下旬は、三陸北部で漁場が持続する。11月上旬は、三陸南部でも漁場が形成される。

## 2. 予測の概要

海 域		9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬
道東海域	来遊量					
	動向	中位増加	中位水準	中位減少	低位減少	断続的
	漁 場	落石～厚岸沖 襟裳岬沖	落石～厚岸沖 襟裳岬沖	落石～ 襟裳岬沖	落石～ 襟裳岬沖	襟裳岬沖
三陸海域	来遊量					
	動向		断続的	低位増加	中位増加	中位水準
	漁 場		北部	北部	北部	北部～南部

### 3. 漁況の経過概要（9月上旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年を上回ったが、低位水準であった。道東海域よりも北東側の花咲港東北東～東沖における来遊量の水準は、前旬を上回ったが、前年並であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に増加した。

##### (2) 漁場

道東海域よりも北東側の花咲港東北東～東沖が主漁場であった。道東海域では、落石南～厚岸南沖に漁場が形成された。落石南20海里～厚岸南40海里付近（15～16℃）では、9月5日～8日夜に小型船主体で10～60隻程度操業した。多い船で20トン程度漁獲した船もあるが、操業できない船もあった。なお道東海域よりも北東側の、花咲港東北東～東沖（13～15℃）で、多くの船が操業。大型船でも、1晩で満船近く漁獲できる船も出てきた。

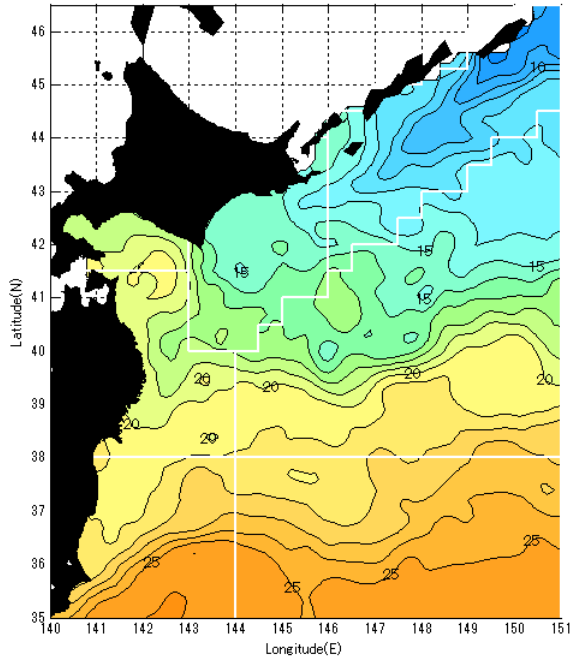
##### (3) 魚体

大型魚主体であった。中型以下の魚が1割以下の群れもあれば、3割程度混じる場合もあった。体長31cmモード主体で、大型魚の体重は160～180g台主体であった。

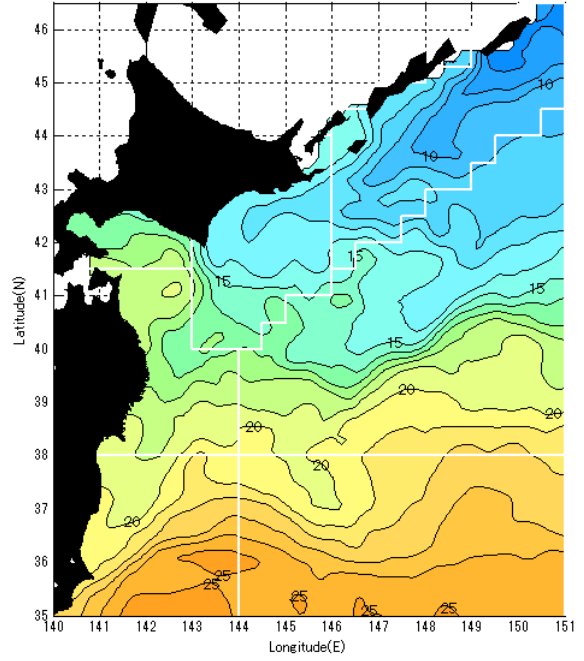
※常磐海域の予報については、第3回（9月29日発表予定）から行う。



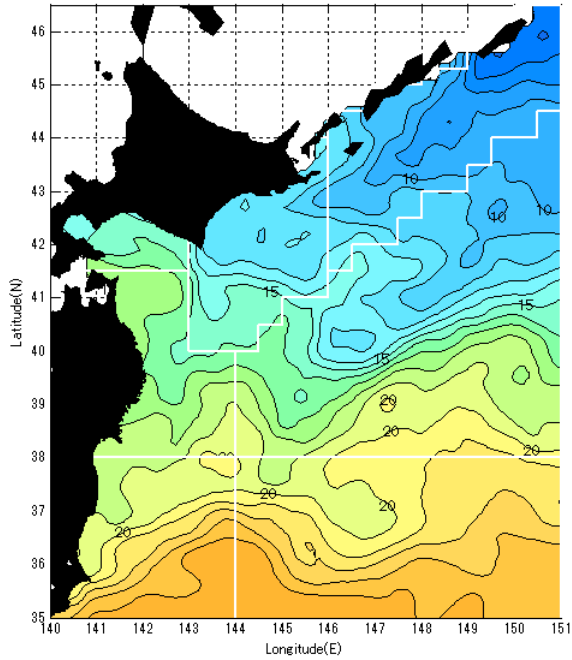
10月上旬予測表面水温分布図



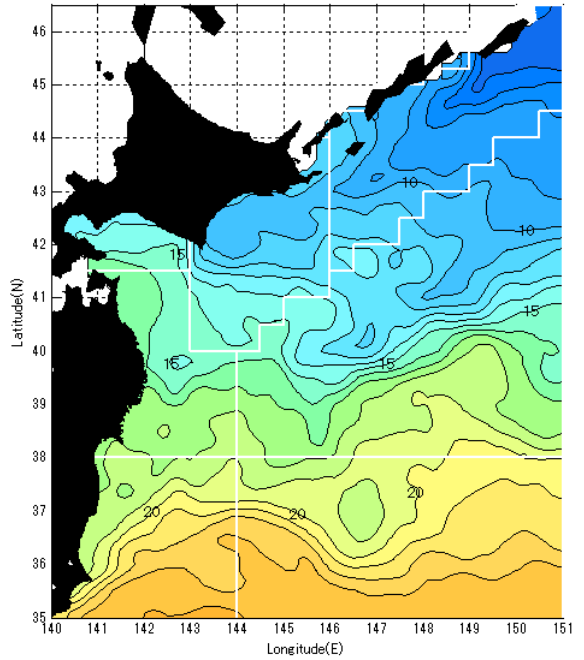
10月中旬予測表面水温分布図



10月下旬予測表面水温分布図



11月上旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--